

宇佐市深見地区

地域コミュニティ組織を中心とした地域活性化

地区の概要

所在地：宇佐市安心院町
世帯数：650世帯
高齢化率：49%

構成集落数：35集落
人口：1,457人

平成29年4月時点

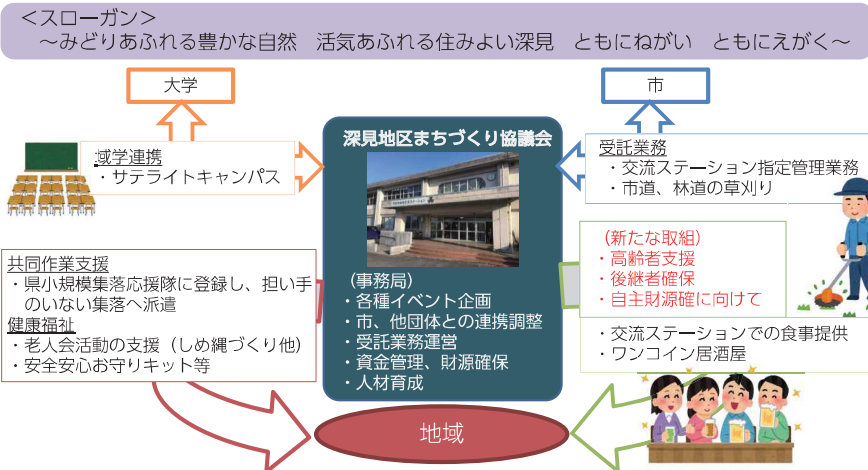
取組のきっかけ

宇佐市では、平成20年から旧小学校区等を単位として「地区まちづくり協議会」の設立を推進しており、深見地区は、平成22年に協議会を設立した。

策定したまちづくり計画に基づき、地域資源の有効活用や高齢化により共同作業が困難となっている集落への作業応援など、地域住民が安心して暮らせる地域づくり活動を実践している。平成24年からは、大分大学との連携協働により農山村が抱える諸課題の解決策などに取り組んでいる。

組織設立から7年が経過し、変化する地域ニーズに対応した活動の新たな企画や若手人材の育成など課題が出てきた。

地域課題解決の取組イメージ



深見地区まちづくり協議会

活動拠点 宇佐市安心院町矢畑442番地2
施設概要 地域交流ステーション (旧深見中学校)
主な取組



- ①高齢者支援
(見守り活動、健康サロン、老人会しめ縄販売等)
- ②宿泊研修施設管理受託、域学連携
(大分大学サテライトキャンパス)
- ③地域コミュニティの醸成
(ふれあい運動会、ワンコイン居酒屋等)
- ④文化財、観光資源の保護、環境美化活動 など

取組の検討・実施

【ワンコイン居酒屋などによる食事提供】

- ・世代や集落を越えた交流により新たなコミュニティ育成につながった。



【サテライトキャンパス設置による外部人材の活用】

- ・大学生とのワークショップ等を通じて、地元住民では気づきにくい地域資源等の再発見につながった。



地域の声

- ・大人数で会話をしながらの食事は楽しいので、また利用したいです。
- ・交流ステーションに人が集まることで、地域活動に興味を持つ住民が増えた。

今後の方針

- ・ワンコイン居酒屋等の定期的開催により、地域住民や都市部（大学生）との交流の機会を創出する。
- ・ワンコイン居酒屋等を発展させ、自主財源の確保とともに地域雇用の場を創出する。